

## もし1万円もらったら、どうする!?

6月 生徒集会より

経済学で最後通<sup>つうちょう</sup>牒ゲームというのがあります。これは、1万円をAさんがもらえる。ただし、Bさんとその1万円をわけて、そのBさんがO<sup>オーケー</sup>Kをしたらもらえるという1回きりのゲームです。だから、Aさんの分け方は、9千円と1千円でもいいし、5千円と5千円でもいいのです。

考えてみれば、Bさんは9千円と1千円でも、1千円がもらえるのだから、OKした方が得です。だから、Aさんも9千円と1千円にすればいいのです。しかし、実際に多くの人で実験すると、Aさんの分け方は5千円と5千円に近づくそうです。



なぜ、こうなるのでしょうか。それは、人間には、自分以外の人間と『喜びや苦しみ分かち合おう!』『つながって協力していこう!』という能力があるからです。

そして、それが私達人間の最大の能力であるということが最近の科学でも明らかになってきました\*。



## 私達=ホモサピエンスの生存戦略!!

たとえば、私達=ホモサピエンスと最後に<sup>えだ</sup>枝分かれたネアンデルタール人は私達祖先より<sup>がんじょう</sup>体は頑丈ですし、脳も大きい、それに、使っていた道具もほぼ同じです。それでも、そのネアンデルタール人が滅び、私達ホモサピエンスが生き残ったのは、私達ホモサピエンスに『分かち合う力』『つながる力』『協力する力』があったからだと言われています。そして、私達ホモサピエンスは『分かち合う力』『つながる力』『協力する力』を体の中に埋め込んできました(共に喜ぶ力、苦しむ力)。さらに、そんなつながりや協力のために『ルールを発明する力』や『ルールを守る力』も身につけてきました。

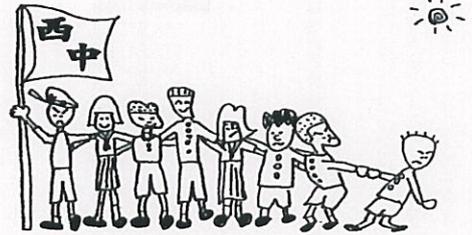


## 6月と7月は、どんな月!?



中学校は、もちろん国語や数学といった教科を学ぶ所です。しかし、同時に人間として大事なことを学ぶ所でもあります。それは、仲間と協力する力であり、ルールを守る力だと思います。

さて、最後になりますが、この6月と次の7月は、6月の月間目標である「仲間の良い所を見つけて」つながり、7月の月間目標である「服装を正しくして」ルールを守る月です。ぜひ、その力を大きくし、2学期の体育大会、文化発表会を成功させる力を蓄<sup>たくわ</sup>える月にしてほしいと思います。



※ NHKテレビ「ヒューマン」でも、人間が協力しあうなかで人間になったという科学の研究成果が紹介されていたのでそれを箇条書きで紹介<sup>かじょう</sup>します。

(1) 人類が洞窟に住んでいた頃の化粧や首飾りは、おしゃれでなく、同じ仲間として共に生きていこうという証、協力しあう仲間の確認や絆を深めるための道具。考古学や現在の「未開」部族の研究から

(2) チンパンジーは自発的に協力しない。自発的に協力するのは人間特有。動物学の最新研究から

(3) 二本足歩行の人類の骨盤は狭い。出産には協力が不可欠→人間の命はみんなの協力のうえにある。

(4) 脳内の視覚野<sup>しかくや</sup>を失った人は目の前の四角と丸はよみとれない。しかし、笑い顔と怒り顔の違いはよみとれる。それは、扁桃<sup>へんとうたい</sup>体が反応するからである。扁桃体は危険を察するなど命にかかわる情報を処理する所。人間の喜怒哀楽の表情をよみとる能力は人類にとって存続にかかわる重要事項であった。

(5) 目の前のお金を自分と見ず知らずの者でわかちあう。見ず知らずの人も誰にもその結果は知らされない。世界どの国でも平均が自分55%強、他人45%弱にわかちあうことが実証される。

(6) 狩りのなかで人間にはテストロンという男性ホルモンが生まれた。闘争本能を高めるために上昇する。一方、人と人が交流するとオキシトシンという信頼の女性ホルモンが上昇することもわかってきた。

(7) 部族間の境界線に1つの丘が交流の丘として設置されていることがわかってきた。これは部族間の争いや緊張状態を和らげるための知恵。テストロンを抑え、オキシトシンを上昇させる知恵。

